

『130年ぶりの暑さと山本昌投手とねづっち』の関係

130年ぶりの暑さだったそうです。

さすがのテクアのオヤジ軍団もなすすべなく、BBQ大会を企画する気力も無く、ただ目先の仕事を黙々と終わらせていだけという夏期連休工事だったような気がします。

そんななかでも頑張って輝いているオヤジはいます！
だれか？もちろん中日ドラゴンズの山本昌さんです！！

45歳と24日で巨人を完封してしまいました。

史上最年長完封で通算209勝目です！！

自分は遠井、田淵、カークランドのころからの大の阪神タイガースファンですが、ドラゴンズの山本昌さんはタイガースの金本さんと同様に人間的に尊敬しております。



大きく振りかぶって、がに股で投げ、三振にしとめるとクルッとマウンド上で後ろ向きになり、喜びをかみ殺す。変化球を見せ球にして130キロのストレートで勝負する。ただの130キロではなく、深い思考と円熟味を増した技術、普段からの鍛錬、野球がやれることへの感謝、野球の神様が常に見ていると信じているための紳士的なマナー、そのようなものが混ざり合った130キロの直球なんです。だから実際よりずっと速く見えるんです。

高1のときに買った、2つで1200円の2キロのダンベルを手首強化のために30年間使い続けているんです。

渋いですね～！オヤジの星でもありますが、私の好きなコツコツ道の師匠でもあります！

プライベートではオオクワガタとラジコン好きなんです。ラジコンを好きな人達が一生懸命になって、車高が何ミリのときにどうだったとか、ばねの強さがどうか、リバウンドがどうした、気温や天候はどう影響したか？なんていうことをセッセとノートにつけているところをみて、モーレツに感動して、『何で俺はプロの野球選手なのに、何も分析していないんだ！』と反省して、投球分析をラジコンから学び、最多勝投手になったといわれております。何からでも学ぼうとする野球バカな方なんです。最高です！

出来れば試合中にマイクを取り付けて、副音声でどんなこと考えながら投球しているのか教えてもらいたいくらいです。球が遅いという、プロ野球選手にとっては致命的と思われる部分を逆に武器にして勝負している男の生き方と思考回路は、人生にも役立つ、ビジネスにも役立つような知恵の宝庫だと思います。

あともう一人、この夏、この人の頭の中を知りたいなあと感じてるのはWコロンのねづっちです！

瞬時に導き出すなぞかけの妙味！しびれますね。

世間ではしきりに、ねづっちの素頭の回転の速さを称賛しておりますが、自分はそうではないと感じています。

神経言語プログラミング(NLP)の世界では、人の潜在意識はスーパーコンピューター並みの処理速度を持っているが、通常使用している顕在意識はウインドウズ95並みと表現しています。

したがってねづっちの頭の回転も我々の頭の回転も、そう大差は無い。違いは頭の中に何が詰まっているか？

130キロの頭の回転をどうやって速く見せるか？ただの130キロではなく、深い思考と円熟味を増した技術、普段からの鍛錬、漫才がやれることへの感謝、笑いの神様が常に見ていると信じているための紳士的な服装、そのようなものが混ざり合った130キロのなぞかけなんです。だから実際よりずっと速く見えるんです。

ネタが古臭いという、お笑い芸人にとっては致命的と思われる部分を逆に武器にして勝負している男の生き方と思考回路は、人生にも役立つ、ビジネスにも役立つような知恵の宝庫だと思います。



P. S. 『なにコピーして文章終わらせてんだよ～！！手抜きすんな！！』というお叱りの声が聞こえてまいりましたので、自分が調査した『なぞかけのコツ』を発表させていただきます。

まず、なぞかけで1番押さえておかなければならないことは、『なぞかけには2種類ある！！』ということです。

1つめが『意味系なぞかけ』でもう1つが『発音系なぞかけ』です。わかり易い例をだします。

『のれんと掛けてセールスマンと解く、、そのころは、、外に出てれば営業中とみなします』これが意味系なぞかけです。

『台風と掛けて鍋と解く、、、、そのころは、、、、増水(雑炊)したりするんです』これが発音系なぞかけになります。

日本語には同音異義語が多いので、作りやすいのは『発音系なぞかけ』、相手をなるほど！とうならせるのは『意味系なぞかけ』だそうです。

次に作り方ですが、コツは2つしかありません。出されたお題から如何にたくさんの言葉、イメージを連想できるかと、どっち系のなぞかけでいくか？です。台風から『風速、傘吹っ飛ぶ、大雨、浸水、台風ーン！大型、困る、休校、ニュース、沖縄に停滞中、韓国方面に進路変更、夏の終わり、次は何号？鉄人28号、傘の骨、カッパ、増水、え、増水？増水ね～！雑炊？(ヒラメク！)、ということは鍋！よし鍋で行こう！！』という流れになると思います。したがって『Aと掛けて Bと解く そのころは C』は『A拡張C収縮B』で思考回路が回っているわけです。では最後にねづっちと私の掛け合いで締めさせていただきます。整いました！！

『ランドセルと掛けて洗濯機と解く、、そのころは、、、、全児童(全自動)使います』(ねづっち作)

『古い洗濯機と掛けて130年ぶりの暑さと解く、、そのころは、、脱水とまりません！』(お後がよろしいようで)



感謝！

羽原篤史

